

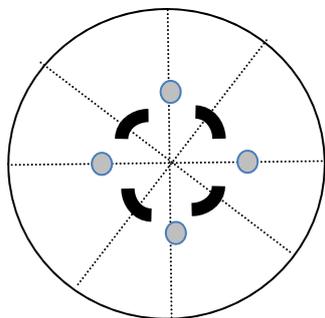
15 ペーパークロマトグラフィーで遊ぶ^{あそ}

生体にはいろいろな成分が含まれていますが、それらを成分ごとに分けるということは、生物の仕組みを科学的に調べるときにはとても重要なことです。生体成分を分ける方法はいろいろありますが、その中でペーパークロマトグラフィーは紙と水（溶媒）だけでいろいろなものを分けることのできる簡単な方法です。簡単なわりに、きれいに分離できるので、実際の研究においてもよく使われる方法です。

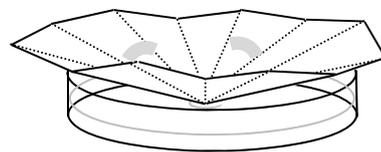
ここでは、ペーパークロマトグラフィーの原理を用いて、水性マーカーの色素を分ける実験をおこないます。水性マーカーには何種類もの色がありますが、これらはもともとなる色を何種類か混ぜて作ってあります。ペーパークロマトグラフィーを用いて、どんな色が混ざっているかを調べてみましょう。

ろ紙に水性マーカーで好きな模様を描いてペーパークロマトグラフィーで分けると、いろいろな模様になります。きれいな花模様を作ってみましょう。

方法



ろ紙に折り目をつけたあと、水性マーカーで模様を描きます



水を張ったシャーレの上に、ろ紙の中心部分だけが水につかるように載せます。色が分かれていく様子を観察しましょう